



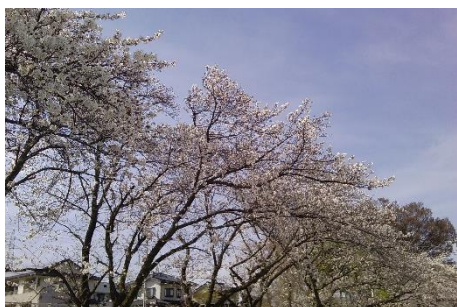
南アの里

学校教育目標「ふるさとを愛し 夢を育む 賢く優しくたくましい子」

令和8年3月25日発行

文責：校長 横山啓二

Next ～一丸となって歩み出そう～



3月中旬、岐阜と高知に続いて、甲府で桜の開花が発表されました。平年より9日早く、これまでの最速記録を更新したそうです。白根百田小学校の桜も、その便りに誘われるように咲き始め、もうすぐ満開のときを迎えようとしています。この桜のつぼみが少しずつ膨らんでいったように、子どもたちもこの一年、一步一步着実に成長してきました。入学・進級したばかりの頃の幼い表情が、今では自信と希望に満ちた頼もしい顔つきへと変わっています。花開く桜とともに、子どもたちの努力が実を結んだ年度末であることを、心から嬉しく感じています。保護者、地域の皆様には、この一年間、本校の教育活動に対して、多大なる御理解と御協力をいただきましたことに、深く感謝申し上げます。ありがとうございました。

第43回卒業証書授与式 40名の旅立ちの日

3月19日、未明からの雨の朝となりましたが、本校において第43回白根百田小学校卒業証書授与式を行いました。南アルプス市産業観光部長・石川浩様、PTA会長・清水正学様の御臨席のもと、また、白根御勅使中学校川野校長先生にも参観をいただき、保護者の皆様、5年生児童、教職員が見守る中、40名の卒業生にとって「小学校最後の授業」が始まりました。

3月2日（月）から始まった卒業式練習。6年生は、自身の成長を支えてくれた方々への感謝を刻み新たな出発への希望を抱く時間として、また5年生は、在校生代表として、「より良い学校を引き継ぐ」自覚を高める時間として取り組んできました。前日の午後には、5年生と教職員が心を込めて清掃や会場設営を行い、準備万端で当日を迎えました。

本校の卒業式は2部形式です。儀式的要素のある第1部と卒業生を中心に児童がつくる第2部で行っています。第1部の証書授与では、小笠原流礼法の所作に則り、証書を受け取ります。呼名のときの返事、歩く姿、受け取る動作等常に凛々しく、6年間の確かな成長を感じさせる姿でした。続く第2部の「旅立ちの言葉」では、一人一人が自分の言葉に精一杯の思いを込め、6年間を振り返る感謝と決意を語りました。合唱「この星に生まれて」と「旅立ちの日に」の歌声は、会場を深い感動で包み込みました。5年生による呼びかけと合唱「変わらないもの」も、最高学年のバトンを引き継ぐ決意に満ちた、素晴らしいものでした。6年生の卒業式のテーマは「Next ～一丸となって歩み出そう～」でした。この1年、最高学年として学校をけん引してくれた40名。中学校という「Next(次のステージ)」においても、新たな仲間と「一丸となって」歩いていってほしいと願っています。卒業、本当におめでとうございます。



児童会も Next 次のステージへ

2月27日(金)、6年生を送る会実行委員会(新児童会本部)の企画・運営による、「6年生を送る会」が開催されました。入場シーンでは、紹介に合わせて6年生一人ひとりが、好きなことや特技を披露。実行委員会による「思い出のスライド」や「〇×クイズ」では、全校児童が一体となって盛り上がりました。

在校生からは感謝の呼びかけと合唱「この地球のどこかで」が贈られ、6年生からもお礼の寸劇と合唱「この星で生まれて」が披露されました。たてわり班のメンバーからの手作りプレゼントを手に、顔をほころばせる6年生の表情がとても印象的でした。企画から当日の運営まで全力を尽くした実行委員会(新児童会本部)の皆さん、素晴らしい会をありがとうございました。新年度の活躍も期待しています。



1, 2, 3年生が楽しみました 上八田お話し会

3月23日(月)の5校時、1, 2, 3年生が楽しみにしていた「上八田一坪図書館・くれよんの会」の皆様によるお話し会が行われました。始まりは楽しい指遊び。「いちといちで忍者だよ、ドロン!」の掛け声に合わせて、最後は「手はおひざ」で準備万端。大きな絵本で読み聞かせいただいた人気作「パンどろぼう vs にせパンどろぼう」に子どもたちは一気に引き込まれました。続く人形劇「三枚のお札」では、手作りの舞台や人形、臨場感あふれるセリフと効果音に、会場はスリルと笑いに包まれました。初めて参加した1年生も、そして2・3年生も、すっかり物語の世界に夢中になって過ごした時間でした。「くれよんの会」の皆様、素敵な時間をありがとうございました。来年度も楽しみにお待ちしています。



本号が今年度の学校だより「南アの里」最終号となります。1年間ありがとうございました。